ホケンダイつきいちゼミ 2026年11月号

健康科学部　看護学科
感染予防看護研究室

新改　法子（しんかい　のりこ）

公立大学法人 AOMORI UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE
青森県立保健大学



感染から、人を守る、社会を守る

私の原点

1 **感染症看護専門看護師**として働く中で、院内で新型コロナの感染が広がり、患者さんだけでなく、**看護師も感染する現実**を経験しました

目指すこと

2
- **患者さん**だけでなく、医療を支える**看護師も守る**
- 誰もが安心して医療・看護を受けられる環境をつくる
- **新しい感染症が発生**しても、**質の高い看護を届ける**

私たちの目標

3
- 感染症とともに生きる社会の中で、人々の健康と看護を守るために何ができるかを考え、研究する

守りたいもののつながり

看護師が感染せず、安全に働ける

↓

患者さんが安心して医療・看護を受けられる

↓

新しい感染症が流行しても、看護の質が保たれる

公立大学法人 AOMORI UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE
青森県立保健大学

※感染症看護専門看護師：感染症看護の分野において卓越した看護実践力を持つと日本看護協会が認定した看護師のスペシャリストのこと

研究紹介①コロナに感染した看護師は、何を感じていたの？

職業感染した看護師11名へインタビューを行い、**3つの時期**の思いの変化をまとめました

	感染判明時	療養中	職場復帰
ネガティブな思い	• ショック • 周囲への申し訳なさ • 自責の念	• 病院の感染対策の不満・不安 • 復帰への体調不安	• 職場で働くことへの不安 • 看護師を続けることへの迷い
ポジティブな思い	• 管理者や周囲への温かい支援への感謝	• 早く復帰したい • 復帰は当然	• 経験を今後の看護に生かしたい • 看護観を再確認

感染した看護師が再び働くためには、**周囲の温かい支援**が大切です
看護師同士の支え合いが、**復帰への意欲**や、**看護師として働き続ける力**につながります

公立大学法人 AOMORI UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE
青森県立保健大学

Nursing & health sciences 28(1) e70307 2026

研究紹介②感染した看護師の復帰を支えるには何が必要？

全国Web調査で、感染した看護師の職場復帰を**支える支援**の柱を検討しました

看護師を支える5つの柱

- 責めずに温かく迎え、**安心できる環境をつくる**
- 心と体の状態に合わせて、**一人ひとりの復帰計画**を立てる
- 感染の経験を振り返り、**看護を見つめなおす機会**を作る
- 平時から体系的に学ぶ**教育を整える**
- 個人防護具やマニュアルなど、**必要な備品・設備**を整える

看護師が安心して働き続けられる職場へ

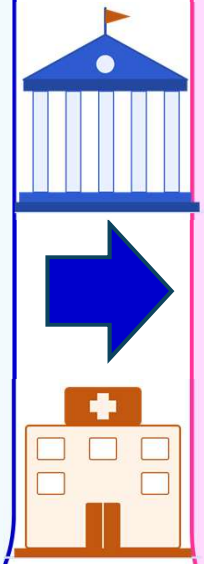
研究紹介③研究の成果を地域の医療・福祉にどう役立てる？

現在、取り組んでいます

第一段階：現状を知る

地域の行政と病院の連携を調べています

- 行政と病院の連携の現状を知る
- 上手くいったこと・課題を整理する
- 担当者の思いや考えを分析する



第二段階：支援を形にする

地域で活用できる支援プログラムを目指します

- ５つの構成要素を取り入れたプログラムをつくる
- 地域の医療・福祉機関と協力して実践する
- 結果を評価し、改善する

看護師の職業感染を防ぎ、新興感染症にも迅速に対応できる体制へ.
2040年に向けて、感染拡大を防ぎ、看護師が安全に働き続けられる医療現場を目指します

公立大学法人 AOMORI UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE
青森県立保健大学

感染予防看護学研究室のご紹介

https://www.auhw.ac.jp/daigakuin/health/2024-0327-1009-355.html

ご興味のある方はぜひ
感染予防看護学研究室ホームページをのぞいてみてください。
研究の紹介や論文を載せています。

公立大学法人 AOMORI UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE
青森県立保健大学